

令和 7 年 6 月 6 日

長野県知事 様

令和 7 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

協定期間	令和 5 年度から令和 7 年度	
会 社 名	川窪建設株式会社	
住 所	〒390-0871 長野県松本市桐三丁目1番14号	
代表者名	代表取締役 川窪 勇起男	
業 種	製造業 ・ 建設業	
処 理 施 設	施設名	所 在 地
所 在 地	—	—
(処理施設を有する場合)	—	—
担 当 部 署	総務課	
担 当 者 名	佐藤 公子	
連 絡 先	T E L	0263-34-1010
	F A X	0263-33-7049
	電子メールアドレス	—
ホームページアドレス	http://www.kawakukboken.com	

1 産業廃棄物 3 R 実践方針

- ・「長野県産業廃棄物 3 R 実践協定」・「エコアクション 2.1」・「ecoオフィス」これらを弊社の環境活動の柱とし、引き続き活動していきます。
- ・「長野県産業廃棄物 3 R 実践協定」の活動としては産業廃棄物の削減、分別、リサイクルに引き続き力を入れて、社内だけでなく、協力会社の意識向上と協力をお願いしていきます。

2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	R7 年度目標値	R6 年度実績値	R5 年度実績値	R4 年度実績値
総排出量の推移 (t・kg・m³)	270	374	204	232
リサイクル量の推移 (t・kg・m³)	216	310	136	139
売上高の推移 (円)	580,000,000	480,000,000	565,000,000	561,300,000

3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

1. 各現場で産業廃棄物の種類、排出量、方法等を掲示します。
2. 年に4回環境会議（3R+EA21+eco オフィス）を行います。基本全社員参加とします。
3. 昨年同様にお施主様・設計事務所様に既存品利用（リサイクル）のご提案をします。協力会社様には簡易梱包と余剰資材の持ち帰りなど依頼をします。各現場での新規入場者教育の際には必ず産廃の分別を説明し、実践のお願いをします。
工期内に行われる現場会議では環境に関するクイズ、環境問題意識を高めるため全員でのゴミ拾い、分別の重要性の説明、分別の再確認等を行い、環境教育にも力を入れていきます。
4. 不適正処理を発見した場合、見過ごすことなく、社会人の義務として速やかに関係機関に連絡し、協力します。

以下の観点も参考としていただいて構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
- ・処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
- ・従業員教育（研修）計画
- ・リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
- ・独自に取り組む事項

代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	7年度 目標値	6年度 実績値	5年度 実績値	4年度 実績値
砕石	100%	100%	100%	100%
全 体	100%	100%	100%	100%